

## 平成26年度 第5回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成26年5月28日(水) 14:35～17:50 (7～10時限)

場所：理学部 E210 講義室

講師：土生敏行 先生 (京大・放射線生物研究センター)

演題：恒常性維持と細胞周期制御

要旨：生物の増殖性、恒常性維持の生命固有の分子プログラムを解明することは生命の根幹を知るものであります。中でも遺伝情報の維持は、恒常性維持だけに留まらず、生物の存続に重要であります。本セミナーでは細胞周期制御が遺伝情報維持を如何に保障し、子孫へ伝えていくのかを細胞分裂プログラムを中心に解説していきます。その上で、脳血管形成・維持に支障をきたすモヤモヤ病の原因が分裂プログラムの破綻と密接に関わっていることを発見するに至った経緯にも触れ、恒常性の乱れと疾患との関連性を紹介していきます。

また様々なストレスに曝された細胞のストレス応答プログラムと細胞周期制御との関わり合いに関しても触れ、ストレスを受けた生物の恒常性の維持・調節に関しても近年の解析を基に紹介していきます。

問合せ先：理学研究科・数理分子生命理学・楯 真一 (7387)

数理分子生命理学セミナー世話人 片柳克夫 (内線7388)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です